

自然界のエレメント = 自然の5要素 地・水・火・風・空のうち 第一弾として火=光をテーマに見えないものを感じながら、体験する体感遊びのような自然体感型アートワークショップです

準備物

透明シート・油性マジック・セロファン・厚紙・模造紙・ライト・白色のシート・ハサミ・のり・テープ・ペットボトル

テーマ

・太陽のひかり、ライトのひかりを感じる
・光の三原色の世界を楽しむ

午前の部 10:00 ~ 12:00

午後の部 13:00 ~ 15:00

タブレットやスマートフォンの支給によって1人1台が当たり前の時代になってきました。昔に比べて随分と「動画」との距離が近くなっているように感じます。外で感じる太陽の光の強さ、暗闇を照らすライトの力などを使って光遊びを行うことで、モニター越しに広がる世界を、自然の中にある太陽とライトを使って映像の原理的な部分に触れてみます。

光の三原色！？

光の三原色は赤 (R:レッド)・緑 (G:グリーン)・青 (B:ブルー)、色の三原色は青緑 (C:シアン)・赤紫 (M:マゼンタ)・黄 (Y:イエロー) で構成されており、三色を混ぜ合わせると、ほとんどの色をつくり出すことができます。たった三色で、さまざまな色を作ることができるのは、私たちの色覚の仕組みと深く関係しています。光の三原色の色光を混合させると白色になります。



どんな色にしようかな？どう見えるかな？



丸型は大変！ガイドを引いてゆっくり進めます。

まずは光の色についてや、切ったり書いたり慣れる時間を取り、外に出て太陽の光で遊べるものを製作します。



上手に切れるかな？



色眼鏡の完成！



1人3色赤・緑・青などカラーセロファンを選び、強度を加えるために透明シートを重ねて、丸型のガイド線を引きます。おやこで協力し合いながら、まずは線に沿って切ること慣れていきます。

低年齢の子や、早く終わった子を中心に、机に敷いておいた透明フィルムに油性マジックで好きな絵を描いていきます。6チームに分かれたグループごとに太陽で遊べるように準備を進めます。



自由に大きなフィルムへ描きます！



低年齢の子もこれは大得意！



出来上がったものを持って、みんなで外へ！どんな風に見えるかな？



水が入ったペットボトルも外へ！

出でてを太
さ地み実陽
れ面た験の
まにり！光
すみ`セを
。ん模口使
な様フっ
のにアて
絵しん色
がてをの
映み重出
したね方

キラキラ光る
様子が現れ
ました！



体に映る！
なんて！？



キラキラ！
カラフルな
世界！

グループで
集合させると
綺麗だね！



影あそびも
楽しめます！



ひかりであそぶ

四国中央市のおやこアート体験事業ドキュメント

2024年8月12日

美術講師 松岡美江

太陽の光を使った外の活動を終えて、いよいよモニター作り本番です！画用紙を使って好きな形に枠を作成し、その間にセロファンやマジックを使用して映し出したい世界を表現していきます。



会場の周りにも白い不織布を設置し、製作しながらどんな映りになるか確認する様子が見られました。

まずはどんな枠にするかを親子で相談し、ガイドラインを引いてカットしていきます。



前半に行った流れを参考に、モニター製作スタートです。猫やうさぎ、色んな生き物をテーマに製作する子や、完全に電子機器を意識したような形の子、目だけが覗けるようなお面の形、透明の要素を利用して2枚3枚重ねてお話の展開がある作品など、色んなアイデアが飛び交っていました。親御さんたちも子どもたちと一緒に夢中になっている姿がとても印象的でした！さてどんな世界が出来上がったのでしょうか？



1枚目に2枚目を重ねると違う世界が広がります！

完成した子どもたちから、前にある大きなスクリーンに映し出していきます！

ひかりであそぶ

四国中央市のおやこアート体験事業ドキュメント

2024年8月12日

美術講師 松岡美江

完成した作品とともに光遊びの時間へ。色んな場所に映し出してみたり、床に置いて角度を変えた方法を探してみたり、一気に光の世界に包み込まれます。



手を型取って
今しかできない思い出に◎



光の見え方が
変わったよ！

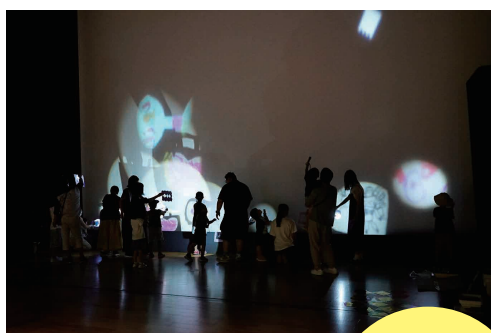


こだわり作品！

目だけを表現
してお化けみたい～



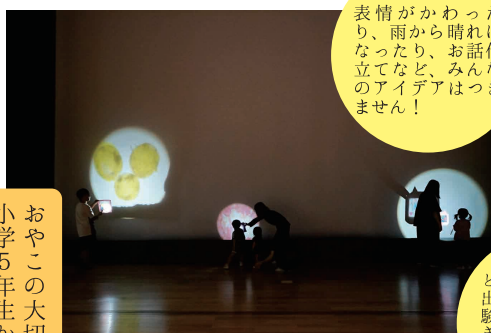
ハートや星、
りぼん！色
んな形が♡



ライトを使っていざ投影へ！
巨大スクリーンに映し出されるみんなの作品は圧巻です！作品をスクリーンに近づけてみたりライトを引いてみたりしながら映る様子の違い実験していきます。お互いの光が重なる瞬間とても美しい！



モニターの中
が特に可愛
かったで賞



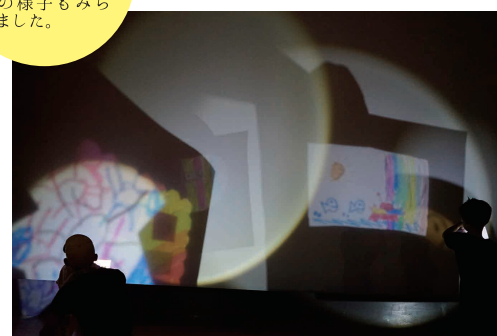
表情がかわったり、
雨から晴れになったり、
お話し仕立てなど、みんな
のアイデアはつきません！



映し実重年
風にか、に学
なれる要素高
なれなくもみ
ど実験のお様
き生れました。



おやこの大切な製作時間でもあり、また、上は
小学5年生から未就学児の異年齢の子どもたち
が集まることで、柔軟な考え方や色んな手法、
アイデアが影響しあい、新たな考え方が生まれ、
お互いに成長できたように感じます。



午前の部



午後の部